

令和 2 年 8 月

小林市議会臨時会提出議案説明書

提案理由をご説明する前に、令和2年7月豪雨によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

今回の豪雨災害につきましては、熊本県を中心に甚大な被害が発生したことから、本市におきましては、人吉市及び芦北町への職員派遣や、八代市へ市立病院^{ディーマツト}DMA Tの派遣を行うなど、被災地への支援を実施してきたところであります。

今後におきましても、県や宮崎県市長会との連携を図りながら、新型コロナウイルス感染症の状況等も考慮した上で、できる限り被災地への支援を続けてまいりたいと考えているところであります。

近年、全国各地で記録的な大雨に伴う大規模な浸水被害等が毎年のように発生しており、いつどこで同様の災害が発生してもおかしくない状況にあることから、本市におきましても、新型コロナウイルス感染症対策に十分に配慮しながら、あらゆる災害の発生に備え、引き続き危機管理体制の更なる充実を図ってまいります。

また、県内で感染が拡大しております新型コロナウイルス感染症につきましては、去る7月26日に県独自の警報レベルが「感染拡大緊急警報」に引き上げられるとともに、8月1日には、飲食店に対する休業等要請の対象が県内全域に拡大されたところであり、本市におきましても、市内でいつ感染事例が発生してもおかしくない危機的な状況にあると考えているところであります。

本市ではこれまで、小林市の基本的対応方針に基づき、感染症対策に取り組んできたところでありますが、県内で相次いで感染者が確認されている中、更なる感染の拡大が懸念されていることから、国、県その他関係機関との連携を密にしながら、感染拡大の防止に全力で取り組むとともに、市民の皆様の生命、健康、生活を守るため、引き続き対策に万全を期してまいります。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、今後、新たな予算措置等が必要となった場合につきましては、引き続き本市の状況を十分に見極めながら、迅速かつ的確に対応させていただくこととしております。

それでは、以下、本日提案をいたしました議案について、ご説明を申し上げます。

議案第54号令和2年度小林市一般会計補正予算第6号につきましては、歳入歳出それぞれ3億211万2,000円を増額し、予算規模は346億5,222万8,000円となります。

まず、歳入につきましては、国県支出金、市債等を追加計上するものであります。

次に、歳出の主な事業のご説明を申し上げます。

総務費につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための市職員向けテレワーク環境を整備するとともに、災害時の避難所

等に使用する感染拡大防止用の物資を備蓄するための費用等を計上するものであります。

民生費につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止用の衛生用品を購入する保育所等に対する補助金等を計上するものであります。

農林水産業費につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内の畜産農家に対する支援を行うとともに、農畜産物の消費を喚起するための費用を計上するものであります。

商工費につきましては、飲食サービス業等の事業者が行う新型コロナウイルス感染拡大防止対策を支援するための補助金等を計上するものであります。

教育費につきましては、児童及び生徒 1 人 1 台のタブレット端末等を整備するための費用等を計上するものであります。

災害復旧費につきましては、梅雨前線豪雨等により被災した、農地、農業用施設、道路及び河川を復旧するため、測量等に要する費用を計上するものであります。

なお、文書管理事業費（臨時）につきましては、やむを得ない事情により年度内での完了が見込めませんので、予算執行の適正化を図るため、繰越明許費として予算計上するものであります。

議案第 55 号令和 2 年度小林市水道事業会計補正予算第 1 号につきましては、収益的

支出において、訴訟委任に伴う委託料 597
万8,000円を増額するものであります。

以上、よろしくご審議のほどお願いをいた
します。